

ALIVIO

電子レンジ

型番

PRE-K7175S (50Hz専用)

PRE-K7176S (60Hz専用)

取扱説明書 (保証書付)

一般家庭用

(業務用としては使用しないでください)

このたびは電子レンジをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」(1～2ページ)はご使用前に必ずお読みいただき、正しく安全に
お使いください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

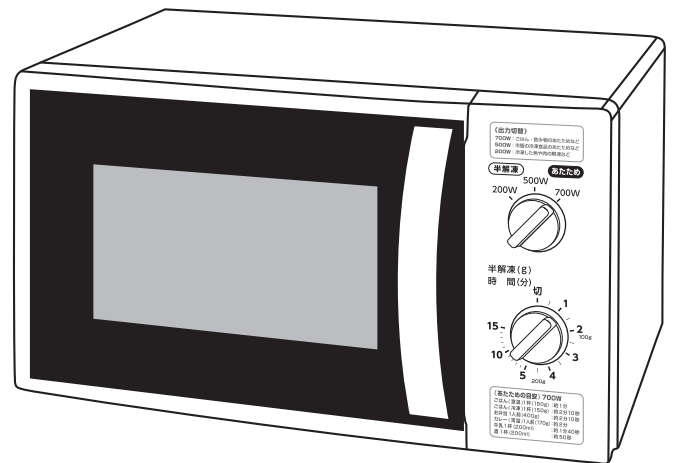
経年劣化によるご注意

長年使用している電子レンジは、火災等の事故につながる恐れがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため必ず点検することをおすすめします。

ご使用環境及びご使用时间等が異なるため、点検時期、点検方法及び点検費用については販売店または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

もくじ

安全上のご注意	1-5
各部のなまえ	6
使える容器・使えない容器、ご使用前に	7
ご使用方法	8
加熱時間の目安	9-10
お手入れのしかた	11
転居されるときは、故障かな?と思ったとき	12
仕様	13
保証とアフターサービス	14
保証書	裏表紙



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



危険

「表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重症を負うことが想定されること」を示します。



警告

「表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重症を負うことが想定されること」を示します。



注意

「表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明



禁止

○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

危険

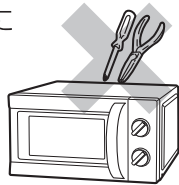


分解禁止

修理技術者以外は、絶対に分解したり改造・修理をおこなわない

●感電、火災、けがの原因になります。

※故障と思われるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



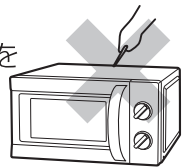
禁止

高圧部に触らない

●吸気口・排気口・すき間などにピンや針金などの金属物や異物、指をいれない。

(感電や異常動作してけがをする原因になります。)

※異物などが入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告



食品や飲み物は加熱しすぎない

●少量の食品や油がついた食品は発火したり、ターンテーブルや容器が熱くなり、割れたり溶ける原因になります。
●飲み物(お酒、コーヒー、牛乳、水など)や生クリームなどの油脂分の多い液体は、取り出すときに突然沸騰して飛び散り(突沸)、やけどの原因になります。広口のカップを使用して、加熱する前後にスプーンなどでよくかきまぜてください。

※加熱しすぎた場合は、少し時間をおいて庫内で冷ましてから取り出してください。



指示に従う

交流100V・定格15A以上のコンセントを必ず単独で使う

●他の器具と併用したり、延長コードやテーブルタップを使用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



禁止

定格周波数以外で使わない

●感電・ショート・火災の原因になります。
※転居の場合はご注意ください。(P.12参照)



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりをふき取り電源プラグにピンやゴミを付着させない

●ゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具や高温部(排気口)に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使わない

●また、重い物を載せたり、はさみ込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災や感電の原因になります。

※結束バンドは必ず外してください。

警告



アースを確実に取り付ける

アース線接続

- 故障や漏電のときに、感電の原因になります。

下記の場合は、必ずアース工事（電気工事士の有資格者によるD種接地工事）をするよう法律で義務づけられています。

〈湿気の多い場所〉

- 飲食店の厨房
- 土間、コンクリート床
- 酒、しょう油などの醸造、貯蔵所など

〈水気のある場所〉

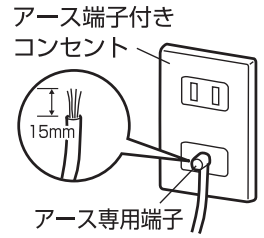
- ※漏電しゃ断器も設置する。
- 八百屋・魚屋の洗い場など水を扱う場所
- 水滴が飛び散る場所
- 地下室など結露が起きやすい場所など

※設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースの取り付けをおこなってください。

アースの取り付け方法

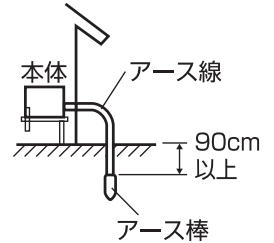
■アース端子付きのコンセント使用の場合

アース線の先端の皮をむき、芯線部をコンセントのアース端子に確実に固定してください。



■アース端子付きのコンセントがない場合

市販のアース棒をご使用ください。取り付けは販売店または、電気工事店にご相談ください。（本体価格には工事費は含まれていません。）



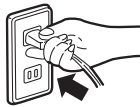
※アース線はガス管、水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）



電源プラグは根元まで確実に差し込む

指示に従う

- 感電や発熱による火災の原因になります。



使用中に本体に異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止

指示に従う

- 感電や発火の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

禁止

- 感電・ショート・発火の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。ぬれた手で抜き差ししない

プラグを抜く

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。



調理中に電源プラグを抜き差ししない

禁止

- 感電・発火・火災の原因になります。
- ※必ずタイマーつまみを「切」にもどしてから、電源プラグを抜いてください。



お手入れの際は十分に冷えてから行う

禁止

- 高温部に触れ、やけどの原因になります。



吸気口・排気口や放熱穴をふさがない

禁止

- 内部の温度が上がり、火災の原因になります。



お子様に使用させたり、乳幼児の手の届くところで使わない

禁止

- 感電・漏電・火災の原因になります。



とびらと本体が接する部分やその付近が破損した場合は、修理が完了するまで絶対に使わない

禁止

- 電波漏れなどの原因になります。
- ※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

指示に従う

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



本体に水や油を付けたり、水をかけたり、丸洗いしない

水ぬれ禁止

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。

警告



禁止

熱に弱いものを近づけない

●たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの敷物の上に置いたり、カーテンなどの燃えやすいものの近くに置かない。
(変形・変色・反りの原因)

●スプレー缶を近づけない
(引火や破裂の原因)



禁止

ゆで卵(殻付き・殻なし)は加熱しない

●おでんの卵、目玉焼きなどは爆発し、大変危険です。

※卵をレンジ加熱するときは必ずときほぐしてください。

●いかなどや殻付き(クリなど)のものは切れ目や割れ目を入れる

※衝撃で食器やフラットテーブルが割れることがあります。

注意



禁止

水や蒸気のかかるところや火気の近くでは使わない

●感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

庫内がカラの状態では加熱しない

●本体や庫内が異常に高温になり、やけど・故障の原因になります。

※カラの容器を入れて、加熱しないでください。



プラグを抜く

長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

●絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。



禁止

庫内やとびらに油・食品カス・煮汁をつけたまま放置したり、加熱しない

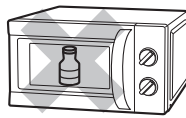
●さび・発煙・発火などの原因になります。付着した場合は本体が冷めてから必ず拭き取ってください。



指示に従う

ビンのふたや栓(ネジ式のふたなど)は、必ず外して加熱する

●感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しない

●発火の原因になります。



指示に従う

庫内の包装材は使用前にすべて取り出す

●運転中に発火して、火災の原因になります。



禁止

とびらに無理な力を加えない

●本体が倒れてけがをしたり、電波漏れの原因になります。



禁止

不安定な場所で使わない

●落下したり、倒れてけがの原因になります。特に置き台から本体がはみ出さないように設置してください。



禁止

とびらにもものをはさんだまま使わない

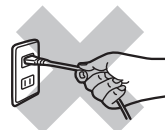
●電波漏れにより障害が起きる原因になります



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

●感電やショートして発火する原因になります。
※必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。



注意する

食器を取り出すときやラップを外すときなどは注意する

●容器が熱くなっていたり、ラップを外すとき、蒸気が一気に出てやけどの原因になります。

※ラップを外すときはゆっくりと外してください。



指示に従う

調理中は、時々庫内を確認する

●プラスチック容器など燃えやすいものを使用するときは、加熱中に発煙・発火していないか確認してください。

⚠️ 注意



哺乳ビンやベビーフードのあたためは、仕上がりの温度に注意する

指示に従う

- 仕上がり温度が熱いと、乳幼児がやけどをする原因になります。
※中身をよくかき混ぜ、温度を均一にして仕上がり温度を確認してください。



缶詰やびん詰・レトルト食品・真空パック入りの食品は容器に入れ替えて加熱する

指示に従う

- 発火・破裂してけがややけどの原因になります。



庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けない

禁止

- 扉を開けると酸素が入り、勢いよく燃えます。

食品が燃えたときは次の処置をしてください。

- ①とびらを閉めたままタイマーつまみを「切」にする。
- ②電源プラグをコンセントから抜く。
- ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。鎮火しない場合は、水か消火器で消火する。そのまま使用しないで、必ずお買上げの販売店に点検を依頼してください。



本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使わない

禁止

- 本製品に無理な負担がかかり、火災や故障・事故の原因になります。



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

禁止

- 変質・破損などによりけがや事故の原因になります。



加熱中や加熱後しばらくは高温部分本体・とびら・庫内・排気口・付属品・容器などを素手で触らない

接触禁止

- やけどのおそれがありますので食品や付属品の出し入れは市販の厚手のミトンをご使用ください。



ターンテーブルやとびらのガラスに衝撃を加えたり、熱い状態で急冷や水をかけない

禁止

- 破損による、けがの原因になります。



お手入れにはシンナー・ベンジン・アルコール・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使わない

禁止

- 製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因になる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。
※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック（樹脂）に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認の上、ご使用ください。プラスチック（樹脂）に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック（樹脂）を侵し、破損してけがや事故の原因になる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかりふき取ってください。



本体の上に物を置かない

禁止

- 加熱して焦げたり、変形することがあります。



調理以外の目的で使わない

禁止

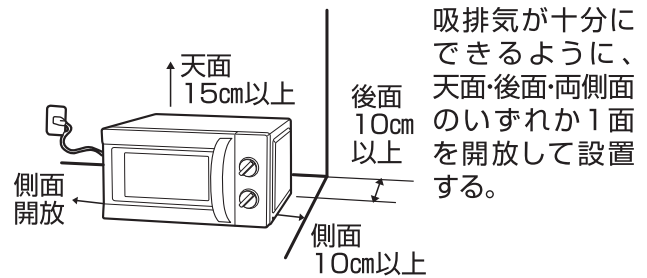
- 衣類乾燥など調理以外の目的で使用すると、過熱・異常動作して、発火、やけどの原因になります。



壁との間隔をあけ、周りを密閉した状態で使わない

禁止

- 間隔をあけないと、壁などが過熱し発火や故障の原因になります。



テレビやラジオ、無線機器(無線LANなど)、アンテナ線などに近づけない

禁止

- 画像の乱れや雑音、通信エラーなどの原因になります。4m以上離してください。



本体が転倒・落下した場合は、本体の外側に損傷がなくても使わない

禁止

- 感電や電波漏れをすることがあります。必ずお買上げの販売店にご相談ください。



アルミホイル、金属容器、金串は使わない

禁止

- 内側がアルミホイルのレトルト食品や金属容器・金串・アルミケース・アルミキャップ・アルミテープを使用して加熱しないでください。火花が出て製品を傷めます。ただし、生ものの解凍で、部分的に使用することがあります。

庫内灯について



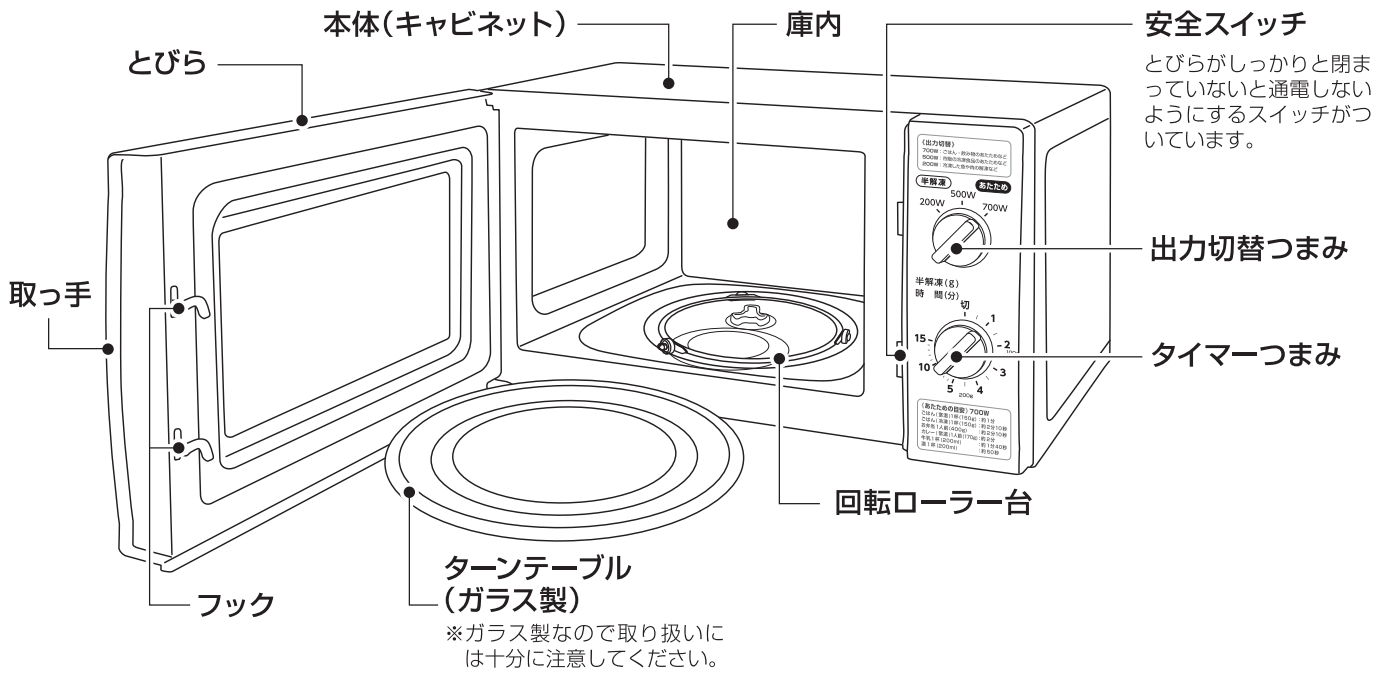
高電圧 感電に注意してください

本製品には、庫内灯がついています。

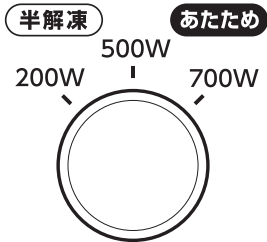
運転時に庫内灯が点灯しないときは、電球が切れています。

電球の交換は、ご自分でおこなうと高電圧により感電したりショートや故障の原因になりますので、必ずお買い上げの販売店へ交換修理をご依頼ください。

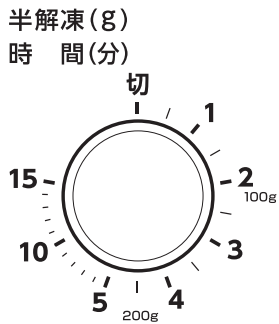
各部のなまえ



■操作部

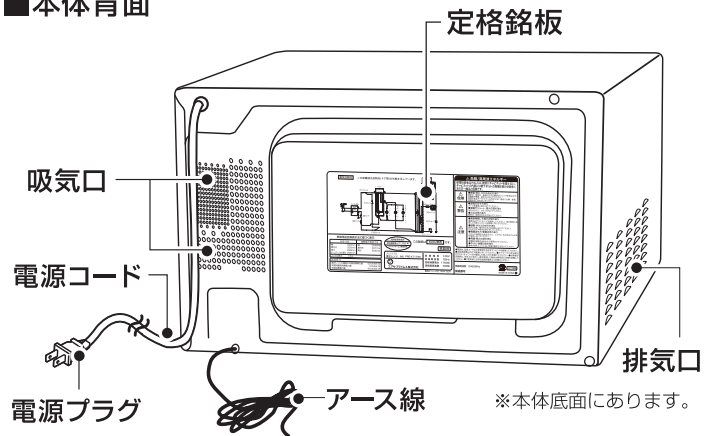


出力切替つまみ
※電子レンジの出力
を切替えます。



タイマーつまみ
※時間を合わせます。
切タイマーです。

■本体背面



■付属品

ターンテーブル(ガラス製)



回転ローラー台の上に置いて使います。

回転ローラー台



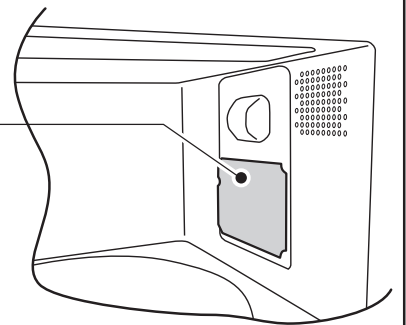
ターンテーブルの下に置いて使います。
ターンテーブルを安定させて回転させるものです。

▲注意

■庫内右側面

保護カバー (電波出口カバー)

保護カバーは梱包材では
ありません。
電波の出口を保護するも
のですので絶対に取り外
さないでください。故障や
火災の原因になります。



使える容器・使えない容器

使える容器

■耐熱性ガラス容器

キャセロール、パイレックス、パイロセラムなど
●但し、急冷はご注意ください。

■耐熱性のある陶磁器（グラタン皿など）

●耐熱性が高くほとんどの料理に適しています。
●絵付け、ひび模様、金・銀模様のあるものは器を傷めたりスパークをおこすので避けてください。

■茶わん・とっくり

●絵付け、ひび模様、金・銀模様のあるものは器を傷めたりスパークをおこすので避けてください。

■耐熱性プラスチック

耐熱温度表示140℃以上のもの

●ふた付きの密閉容器は、ふたの部分だけ耐熱性の低い場合があります。
●高温になる料理にはご使用にならないでください。

■ラップ類

●高温になる料理にはご使用にならないでください。ラップが溶けることがあります。

使えない容器

■アルミホイル

●電波を通さないのが原則としてご使用できません。
※ただし電波を反射する特性を利用して、解凍などに部分的に使うことがあります。

■熱に弱いプラスチック容器

●耐熱温度表示140℃以下のポリエチレン、スチロール樹脂は溶けたり、変形したりします。

■紙器、竹製品、せいろ、ナプキン、ざるなど

●長時間の加熱でこげることがあります。
●竹製品で、針金で結んであるものは、その部分に電波が集中してこげることがあります。

■ステンレス・アルミ製容器、金串、金網

●金属製なので電子レンジではご使用になれません。
●編んだ金網や金串は金属との間で、スパークをおこしますのでご使用にならないでください。

■漆器、重箱など

●塗りがはげたり、食品ににおいが移ったり、ひび割れしたり、変色する恐れがあります。

ご使用前に

■平らな安定した場所に設置してください。

●テレビ、ラジオ、無線機器、アンテナ線などから4m以上離してください。
画像の乱れや雑音の原因になります。

■とびらを開けて、庫内の梱包された付属品をすべて取り出してください。

- とびら固定用テープをはがす。
- とびらを開けて、傷防止用のビニールシートを取り出す。
(とびらと本体の間にシートがあります。)
- ターンテーブルを取り出す。
(ターンテーブルは梱包された状態で庫内にあります。)
- 回転ローラー台の固定用テープをはがす。
(抜け防止のためテープで固定されています。)

●使用上のご注意

- 初めに電源プラグを差し込まないでください。
庫内に梱包された付属品が入ったままで電源プラグを差し込むと誤ってタイマーを回したときに加熱が始まり、故障や事故の原因になります。
- 庫内右側面に付いている保護カバーは電波の出口を保護するためのもので梱包材ではありません。絶対に取り外さないでください。故障や火災の原因になります。

■アースを確実に取り付けてください。(故障や漏電のときに感電する恐れがあります)

■回転ローラー台をセットしてください。

- 回転ローラー台は庫内底部中央の回転軸に差し込む。回転軸の形状「○」と回転ローラー台の差し込み部形状「○」を合わせて差し込む。
- 回転ローラー台はお手入れのとき以外いつも庫内にセットしておく。

■ターンテーブルをセットしてください。

- 回転ローラー台のローラー(3ヶ所)がターンテーブル裏面の円周状の凸部より内側に入るようにセットする。
正常にセットしなかった場合、加熱中にターンテーブルが庫内にあって故障の原因になります。

■とびらを閉めて電源プラグを差し込んでください。

- 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに根本まで確実に差し込む。

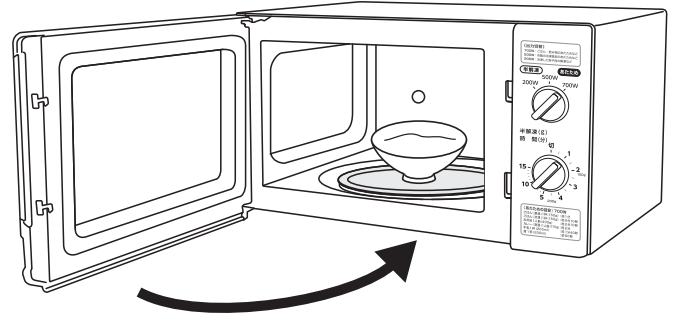
ご使用方法

◎本機は「安全スイッチ」が付いています。

●とびらが確実に閉まっていない場合、安全スイッチが働き加熱しません、必ず確実に閉めてください。

◎調理途中で加熱をやめたとき

●再度とびらを閉めると加熱を再開しますが、庫内に加熱対象物がない場合でも 加熱状態となり火災などの重大事故や故障の原因になります。



とびらを確実に閉める

〈手順〉

1. 冷凍肉・冷凍魚の場合は重さを量ります。
2. 冷凍肉・冷凍魚類はラップを取り除きます。
3. とびらを明け食品をターンテーブルの中央に置き、とびらを閉めます。
4. 「出力切替つまみ」を合わせます。

- ・700wはご飯・飲み物をあたためるとき
- ・500wは市販の冷凍食品をあたためるとき
(市販のレトルト食品や冷凍食品をあたためる場合は、食品パッケージに出力明記がある時は記載されている出力に合わせてください。)
- ・200wは冷凍した肉・魚などを半解凍するとき
- ・半解凍は300gまで可能です。

※9ページ～10ページ「加熱時間の目安」を参考に合わせます。

5. 「タイマーつまみ」を合わせます。

※9ページ～10ページ「加熱時間の目安」を参考に「タイマーつまみ」を加熱時間に合わせます。

・特に解凍時間は短めからスタートし、様子を見ながら調理します。

※2分(200g)以下の短い時間に合わせる場合5分以上

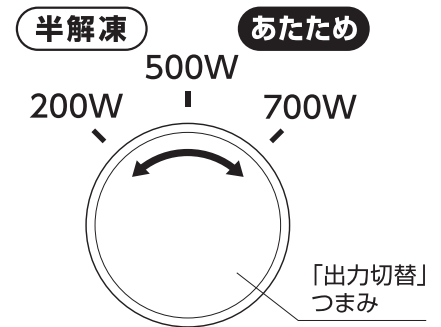
までつまみを回し、戻しながら調理時間を合わせます。(右図参照)

・「タイマーつまみ」を合わせると庫内灯が点灯しターンテーブルが回転、加熱をはじめます。

6. 「チーン」と鳴ればできあがりです。

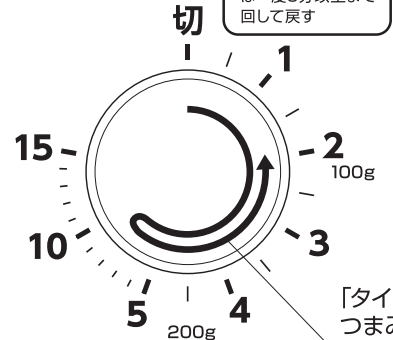
・タイマーつまみが「切」になると「チーン」と鳴り、庫内灯が消灯します。

・とびらを開けて加熱した食品を取り出す(やけどに注意)



半解凍(g)

時間(分)



⚠ 注意 加熱後は必ずタイマーを「切」にしてください。

半解凍は硬めに仕上がります。

半解凍を再加熱する場合は、様子を見ながら加熱してください。

⚠ 注意

食器を取り出すときやラップを外すときなどは注意する

●容器が熱くなっていたり、ラップを外すとき、蒸気が一気に
出てやけどなどの原因になります。

(ラップを外すときはゆっくりと外してください。)



接触禁止

調理中や調理後しばらくは、庫内やとびら、その周辺に触れない

●食品や付属品の取り出しはミトンなどを使ってください。

加熱時間の目安

700W あたため(室温・冷蔵)

メニュー	分量	目安時間	ラップ有無	ポイント
ごはん	1杯(150g)	約1分	—	やわらかく仕上げたい場合は霧吹きなどで水をかける
お弁当	1人分(400g) 1人分(300g)	約2分10秒 約1分50秒	—	卵・アルミケース・漬物・調味料などを取りだしておく(破裂や発煙・発火の原因になります。)
みそ汁	1杯(240ml)	約2分30秒	—	加熱前後によくかき混ぜる
チャーハン	1人分(200g)	約1分20秒	—	皿に平たく置く、加熱後全体をまぜる
牛乳・コーヒー	1杯(200ml)	約1分40秒	—	背の低い容器を使用し加熱前後によくかき混ぜる
お酒	1杯(200ml)	約50秒	—	背の低い広口容器を使用し加熱前後によくかき混ぜる
焼きそば	1皿(200g)	約1分50秒	—	お皿に均等に盛りつける
フライ・天ぷら	1人前(150g)	約1分	—	重ねて置かない
カレー	1人分(170g)	約2分	有	深めの容器に入れ加熱途中と後にかき混ぜる
煮もの	130g	約1分	有	深めの容器に均等に入れる
肉まん	1個(130g)	約1分	有	底の紙をはずし水に濡らした後ラップを巻く
ほうれん草	100g	約50秒	有	茎と葉を交互に並べてラップで巻く、加熱後流水にさらす(色止め)
ブロッコリー	100g	約1分30秒	有	小房に分けて塩水に浸けておく
さつまいも	1本(250g)	約4分50秒	有	太いもの・長いものは半分に割る

700W あたため(冷凍もの)

メニュー	分量	目安時間	ラップ有無	ポイント
ごはん	1杯(150g)	約2分10秒	有	ラップに包んだままガラス皿にのせ加熱
カレー	1人分(170g)	約4分30秒	有	深めの容器を使用し加熱途中と後にかき混ぜる
ピラフ	1人分(210g)	約3分30秒	有	全体を十分ほぐし加熱後に混ぜる
肉まん	1個(80g)	約1分20秒	有	底の紙をはずし水に濡らした後ラップを巻く
あんまん	1個(80g)	約1分10秒	有	底の紙をはずし水に濡らした後ラップを巻く

200W 半解凍(肉・魚などの冷凍もの)

メニュー	分量	目安時間	ラップ有無	ポイント
魚	100g	約2分	—	厚さ・大きさを揃える、煮えないように設定時間は短めに
	200g	約4分30秒	—	
牛肉	100g	約2分	—	
	200g	約4分30秒	—	
野菜	100g	約2分	有	
	200g	約4分30秒	有	

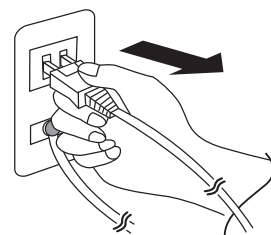
加熱時間の目安

	あたためのワンポイント	あたための使用上のご注意
食品など	<ul style="list-style-type: none"> ●皿や容器などに入れて加熱してください。 ●ラップをかける場合は、食品にゆったりかけて包んでください。(破裂の原因になります。) ●量が多いときは分けて加熱してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ※容器を使用する場合は、密封性の高いふたは必ず取り外してください。(破裂する場合があります。) ※市販のレトルト食品や冷凍食品をあたためる場合、食品パッケージに出力明記があればパッケージ記載の出力に合わせてください。 ※イカなどの破裂しやすい食材が入っている食品は、はじけることがありますので、様子を見ながら加熱してください。・肉まん・あんまんの冷蔵食品は3分以上加熱すると発煙・発火の原因になります。
飲み物など	<ul style="list-style-type: none"> ●入れる量は容器の8分目程度までにしてください。 ●ラップやふたを使用しないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ※飲み物は取りだすときに突沸してやけどすることがあります。加熱しすぎたときは、そのまま庫内でしばらく冷ましてから取り出してください。 ※加熱前後によくかき混ぜてください。
ゆで野菜	<ul style="list-style-type: none"> ●皿や容器などに載せ、必ずラップをしターンテーブルの中央に置いてください。 ●アクの強い野菜は、加熱前や加熱後にアク抜きをしてください。 ●野菜の乾燥を防ぐために、水気を残して加熱してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ※野菜、特に根葉は加熱しすぎると、焦げて発煙・発火の原因になります。様子を見ながら加熱してください。
冷凍食品など	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ大きさ、厚さのものを均等に重ならないように並べてください。 ●様子を見ながら加熱してください。 ●生のまま冷凍しておいた肉や魚、冷蔵庫から出してすぐの凍ったものが解凍できます。(厚さ3cm以内で均一に冷凍しておくときれいに解凍できます。) ●あらかじめ半解凍する食品の重さにタイマーをあわせ、様子を見ながら加熱してください。 ●魚のヒレや尾の部分にアルミホイルを巻くと加熱し過ぎを防げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ※小さく切った野菜(にんじん、ミックスベジタブルなど)の少量加熱(100g以下)はそのまま加熱しないでください。発煙や発火することがあります。(大きめの容器に野菜が浸かるぐらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。) ※肉まん・あんまんの冷凍食品は4分以上、加熱すると発煙・発火の原因になります。 ※食品パッケージにあたためる方法を明記している市販レトルト食品や冷凍食品の場合、記載内容に合わせてください。

お手入れのしかた

⚠注意

- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜き、各部をお手入れしてから湿気やほこりがかからないように収納してください。
- 洗剤をお使いになるときは、台所用(食器、調理器用)を薄めてご使用ください。



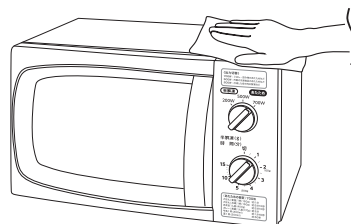
使えない洗剤

- 住宅家具用洗剤、弱アルカリ性、アルカリ洗剤、弱酸性、酸性洗剤(とびらや本体が損傷する恐れがあります。)
- オーブクリーナー・クリームクレンザー・ベンジン・シンナー・アルコール
- 漂白剤、熱湯など(塗装がいたんだり傷がつくことがあります。)
- 可燃性ガス(LPG など)入りスプレー洗剤(発煙、発火することがあります。)



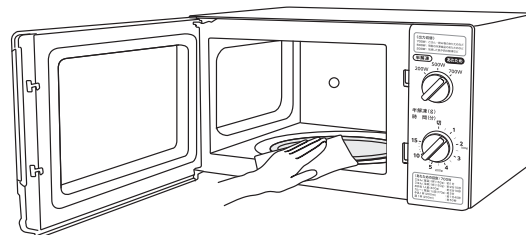
本体(とびら側)

- 操作部やとびらなどの外側はぬるま湯に中性洗剤を溶かし、これを含ませた布で拭いてください。その後、必ず水を含ませた布でよく拭き取ってください。



庫内側面、とびらの内側

- 汁や食品カスは水に濡れた布で拭き取ってください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布で拭いてください。その後、必ず水拭きをしてください。
- 金属ブラシなどでこすったりしないようにご注意ください。表面を傷つけます。



庫内底面、ターンテーブル

- 調理中、こぼれた汁、飛び散った油や食品カスなどは早いうちに拭き取ってください。汚れたままご使用になりますと電波が集中し、焦げつきが取れにくくなります。ぬるま湯に中性洗剤を溶かし、これを含ませた布で拭いてください。その後、必ず水を含ませた布でよく拭き取ってください。

転居されるときは

周波数の異なる地域へ転居されるときは、そのままご使用になることができません。転居先の周波数が異なる場合は、下記部品の取り換えが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

●取り換えが必要な部品

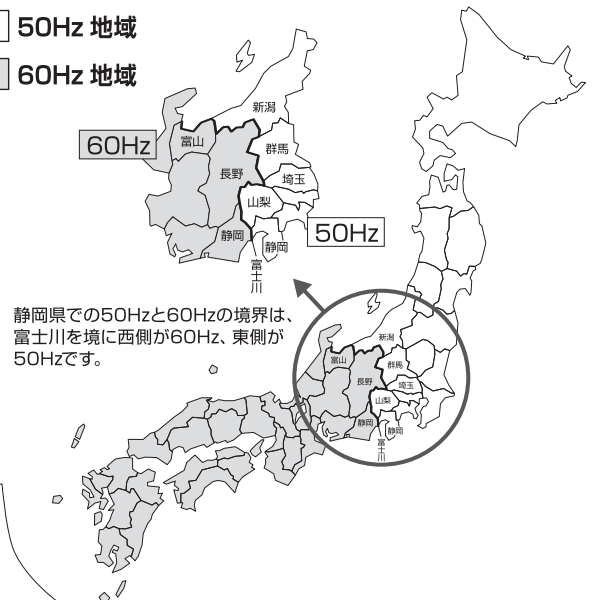
- ・高圧コンデンサー
- ・タイマー

●取り換えにともなう費用

	部 品 代	取り換え工料	アース工事費
保証期間内	無 料	有 料	有 料
保証期間外	有 料	有 料	有 料

■50Hz地域と60Hz地域について

- 50Hz 地域
- 60Hz 地域



故障かな？と思ったとき

■以下のような場合は、修理をご依頼される前にもう一度お調べください。

- タイマーつまみを回しても庫内灯が点灯しないとき
 - 停電していませんか。(とびらが開いていませんか)
 - 電源プラグはしっかり接続されていますか。
 - 電源ヒューズまたはブレーカーが切れていませんか。
- 庫内灯が点灯しているが食品があたたまらないとき
 - 食品が金属容器、アルミホイルなどでおおわれていますか。
 - 出力が弱くありませんか。
- 火花が飛ぶとき
 - 金、銀模様の飾りのある容器を使っていませんか。
 - 庫内の壁に金属のもの(例えば、アルミホイルなど)が触れていませんか。
 - 庫内が汚れて食品カスが残っていませんか。
- 異常音が出るとき
 - ターンテーブルが正しくセットされていますか。

※以上のことを調べていただき、それでもなお、異常のあるときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げ販売店にご連絡ください。

■以下のような場合は、直ちに使用を中止して修理をご依頼ください。

- ・電源コードの被覆が破れている。
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードを動かすと、通電したり切れたりする。
- ・本体、操作部に水がかかった。
- ・その他、何か異常や故障がある。
- 上記の原因以外で何か異常がある場合は、直ちに使用を中止しお買い求めの販売店までご連絡ください。また故障や事故防止のため絶対にご自分で分解・修理などをしないでください。

仕様

型番	PRE-K7175S(50Hz) PRE-K7176S(60Hz)		
定格電圧	PRE-K7175S(50Hz) : 交流 100V(50Hz)		
	PRE-K7176S(60Hz) : 交流 100V(60Hz)		
定格消費電力	1150W	定格高周波出力	あたため:700~500W/ 半解凍:200W
質量(約)	11Kg	コード長さ(約)	1.5m
タイマー	15分計		
庫内有効寸法(約)	幅306×奥行307×高さ208 (mm)		
外形寸法(約)	幅440×奥行325×高さ258 (mm)		
区分名	A		
電子レンジ機能の年間消費電力量	50Hz : 59.9kWh/年 60Hz : 59.5kWh/年		
年間待機時消費電力量	50Hz : 0.0kWh/年 60Hz : 0.0kWh/年		
年間消費電力量	50Hz : 59.9kWh/年 60Hz : 59.5kWh/年		
付属品	ターンテーブル(φ255 ガラス製)、回転ローラー台		

- ・年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による値を表示しております。
- ・製品の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ・この製品は日本国内用に設定されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書 (一体)

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。(レシートの保管をお願いいたします)
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- 本品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特にお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

持込修理

- 故障かな?と思ったとき(12ページ)に従って調べていただき、異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書・お買い上げのレシートをご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは.....


保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げの日	年	月	日
	お買い上げの店名	電話 ()		

お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。

長年ご使用の電子レンジの点検をぜひ!	
 愛情点検	<p>このような症状はありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none">●ご使用中、電源コード、電源プラグが異常に熱くなる。●スタートしても食品が加熱されない。●こげくさい臭いがする。●運転中に異常な音がする。●自動的に切れないときがある。●電子レンジにさわるとビリビリと電気を感じることもある。●その他の異常な故障がある。 <p style="text-align: center;">ご使用中 止</p> <p>こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。</p>

